

5. 問診結果の状況

— 血圧降下剤は8人に1人が使用 —

血圧降下剤を医師のもとで使用している人の推移をみると表3のとおり、男女とも加齢に伴い増加し、60歳代では4人に1人、70歳代以上では3人に1人の割合で血圧降下剤を服用していることがわかる。

表3 血圧降下剤使用の推移(性,年齢階級別)
(%)

		昭和61年	昭和62年	昭和63年
男	総 数	10.3	11.7	12.1
	20～29歳	1.1	1.1	1.9
	30～39	3.3	3.2	2.8
	40～49	6.5	5.7	6.2
	50～59	11.9	14.1	15.2
	60～69	20.8	23.7	25.3
	70歳以上	29.0	28.9	30.8
女	総 数	11.9	13.1	12.9
	20～29歳	2.1	1.7	2.3
	30～39	2.3	3.1	2.2
	40～49	5.0	5.2	6.7
	50～59	13.9	15.1	13.2
	60～69	26.0	23.9	27.4
	70歳以上	37.0	39.2	37.2

— 運動習慣がある人は男性で5人に1人、女性で7人に1人 —

運動習慣の有無について、「実施頻度、週2回以上」「持続時間、30分以上」「継続期間、1年以上」の3つすべてに該当する人を運動習慣があるとして調査した結果は図30のとおり、昭和61年と63年を比較した場合、各年代の習慣者の割合には差がほとんどなく、男性では働きざかりの30～50歳代において少なく、女性では若い年代ほど少ないことがわかる。

— 飲酒習慣者は女性に増加の傾向 —

飲酒習慣の有無について、「飲酒頻度、週3回以上」「1回の飲酒量が日本酒で1合、ビール大1本以上」の双方に該当する人を飲酒習慣があるとして調査した結果は表4、5のとおり、男性においては明確な傾向はみられず、40歳代、50歳代に飲酒習慣者が多いことがわかる。それに対し女性は全体的には増加の傾向がみられ、特に30歳代、40歳代では増加の傾向が強い。

図30 運動習慣者の割合(性・年齢階級別)

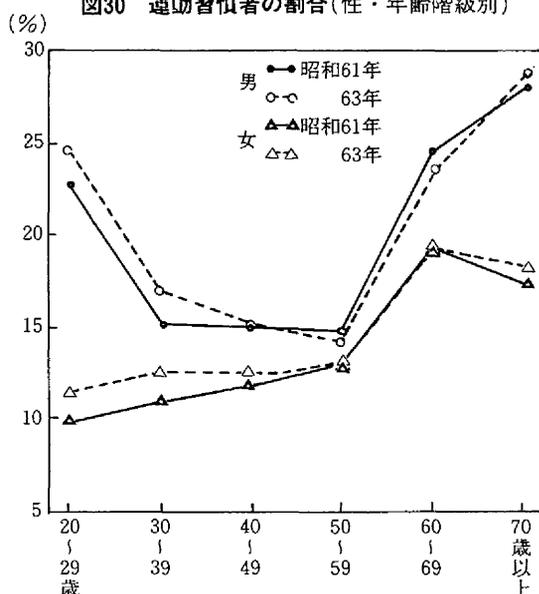


表4 飲酒習慣者の割合(男, 年齢階級別)

	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	全年齢
昭和61年	36.4	57.4	62.5	54.4	50.1	33.6	51.8
62年	34.6	54.1	61.2	58.5	49.9	34.2	50.8
63年	38.6	57.7	60.8	61.9	52.4	32.5	53.4

表5 飲酒習慣者の割合(女, 年齢階級別)

	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	全年齢
昭和61年	4.8	5.9	6.2	5.3	4.3	3.6	5.3
62年	5.6	6.1	7.6	6.4	4.7	3.7	5.9
63年	4.8	7.8	9.3	5.3	4.8	2.9	6.3

— 喫煙習慣者は男性で減少傾向, 女性で横ばい —

喫煙について、「吸っている」「吸っていない」の問いに対して吸っていると答えた人の割合は男性で56.1%, 女性で9.4%であり, 昭和61年と63年を比較した場合図31のとおり, 男性はすべての年齢層で減少し, 女性は横ばいもしくは一部増加となっている。

また, 喫煙本数と肥満者の割合との関連をみると図32のとおり, 喫煙本数が多いほど肥満者が多い結果となっているが, これは, たばこを吸う本数が多くなるほど肥満になるのか, 肥満者にたばこを吸う人が多いのかはわからない。

図31 喫煙者の割合(性, 年齢階級別)

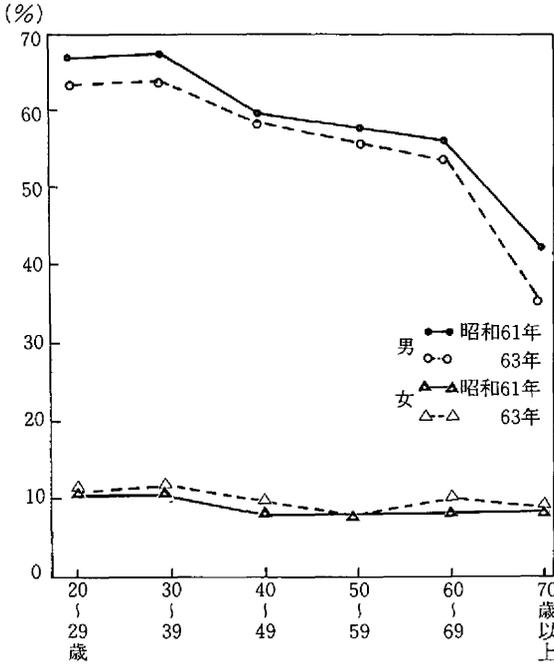


図32 喫煙習慣別に見た肥満者の頻度(昭和63年)

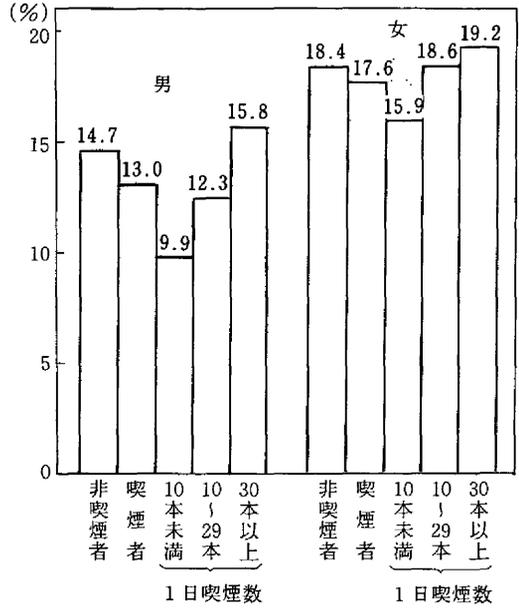
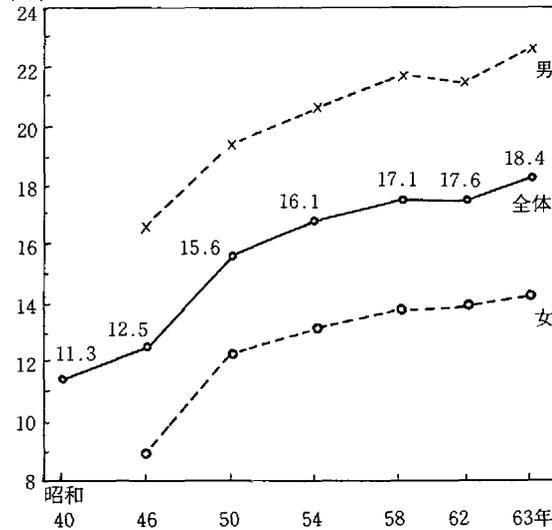


図33 外食率の年次推移



6. 外食の状況

外食について年次推移をみたのが図33であるが、昭和40年には11.3%であったものが増減を繰り返しながらも徐々に増加し、昭和63年には18.4%までになっており、男女別にみても同様に増加の傾向がみられる。

また、年齢階級別に推移をみると図34、35のとおり、男女ともに各年代において増加の傾向を示し、特に20~40歳代の伸びが大きい。